



平成30年11月1日発行

発行：能登町 編集：広報情報推進課
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-97番地1

TEL: 0768-62-10000
能登町 URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp



地域を守る未来のちから

(9月23日・第7回能登町総合防災訓練)

秋の味覚と「能登牛」肉まつり in 能登町

実いっぱい秋を満喫

「秋の味覚と『能登牛』肉まつり」が10月14日柳田植物公園で開催され、町内外から秋の味覚を求める大勢の来場者で賑わいました。

即売会「味覚市」には立派なキノコや新鮮な野菜などがずりりと並び、「テナント市」では秋の味覚や能登牛を使った料理が販売されました。



柳田中学校の生徒による「柳中よさこい」が会場を盛り上げた



力を合わせ大風を秋空へ

「能登牛肉まつりコーナー」では美味しい肉を腹一杯に



能登町の姉妹都市宮崎県小林市からも出店があり、宮崎牛の串焼きや特産品が販売されました。また、多くの方に能登牛と宮崎牛の美味しさを知ってもらおうと試食が行われ、コーナーには長蛇の列ができていました。天候にも恵まれ、同日開催の全国風揚げ能登大会では、たくさんの方々が風を受け空高く上がっていました。

大きなりんごが採れました

県農林総合研究センター能登駐在所は10月16日、松波こども園と小木こども園の年長組25人を招待し、りんごの収穫体験を行いました。

同所では約30種類のりんごが試験栽培されており、この日収穫したのは群馬県産の「陽光」という品種です。

初めに職員からりんごの特徴や採り方を教わった園児らは、軽やかな足取りでりんご園の中へ。園児らはりんごの大きさに驚きながら、赤く色づいたりんごを落とさないように両手でつかみ、丁寧に採っていきました。

体全体を使って腕を伸ばし、収穫する園児



教育から能登の未来を考えよう!

「のと未来会議」は2030年、能登町に若者が集まってくる町になるために、町民と行政が一緒になり、学びながら能登町の未来を「自分ごと」で話し合える場です。

第1回は、町の課題を学びの場に生かした、島根県の離島・隠岐島「海士町」の「全国から若者が集まってくる」成功事例に携わった方々をパネリストに招き、学びます。

後半は、グループに分かれて町への想いを話し合います。みんなで町の未来を描きましょう。

☎ 地域戦略推進室 ☎ 62-8512

第1回 のと未来会議 ～教育から能登の未来を考える～

日時 11月13日(火) 18:30 開場
19:00～21:00

場所 役場能都庁舎4階 大集会室

第1部 パネルディスカッション

- 大辻雄介 (総務省地域情報化アドバイザー)
- 藤岡慎二 (北陸大学教授・地域連携センター長)
- 鈴木さよ (コワーキングプレイス COMSYOKU)
- 木村聡 (能登高校魅力化コーディネーター)
- 灰谷貴光 (能登町地域戦略推進室)

第2部 グループに分かれて 「教育」と「能登の未来」を語り合う



「広報のと」11月号の印刷費は一部当たり36円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA：環境保護印刷推進協議会